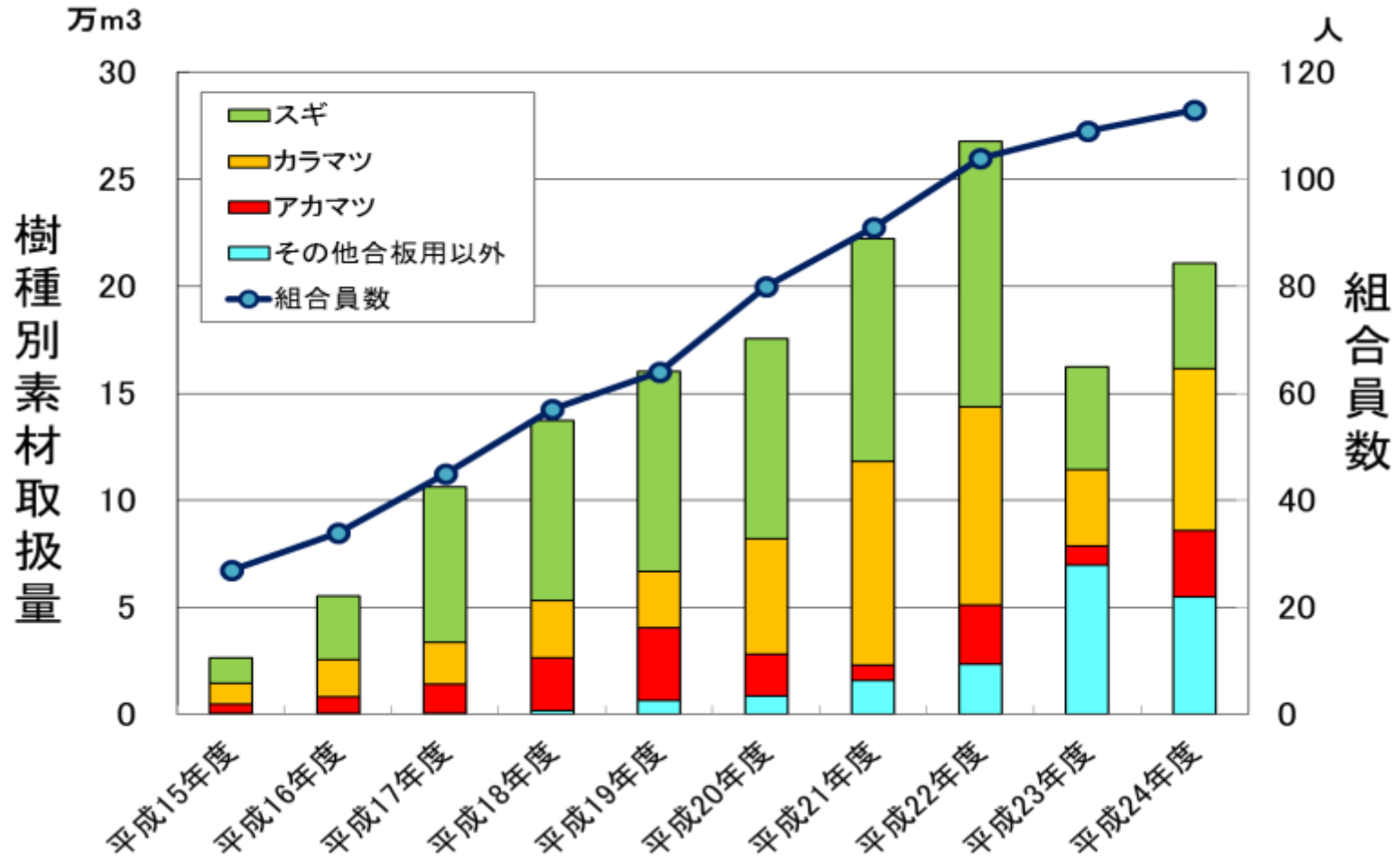


フォレスト再生モデル実証事業（重機 での地拵、低密度植栽）の実証結果と コンテナ苗の植栽

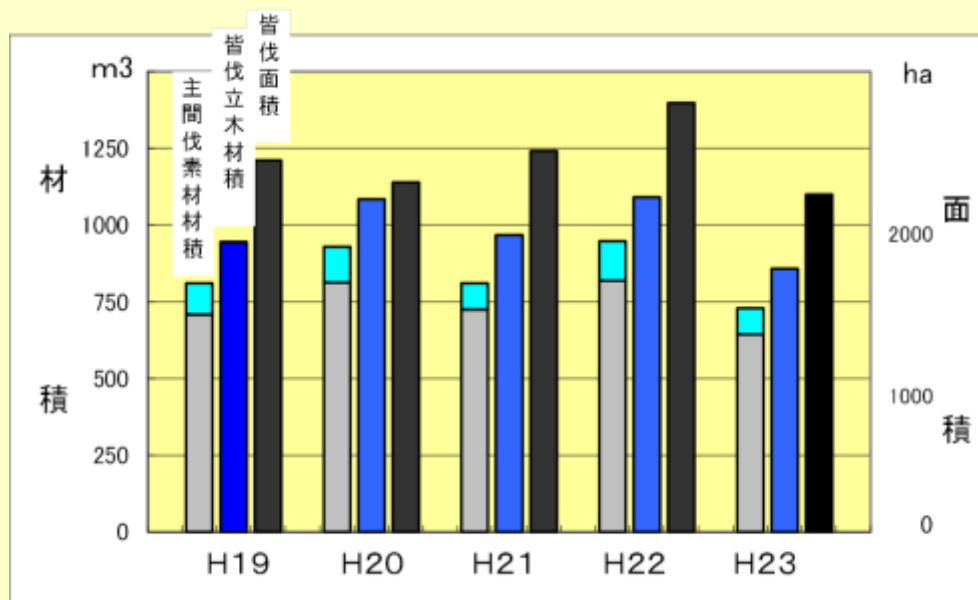
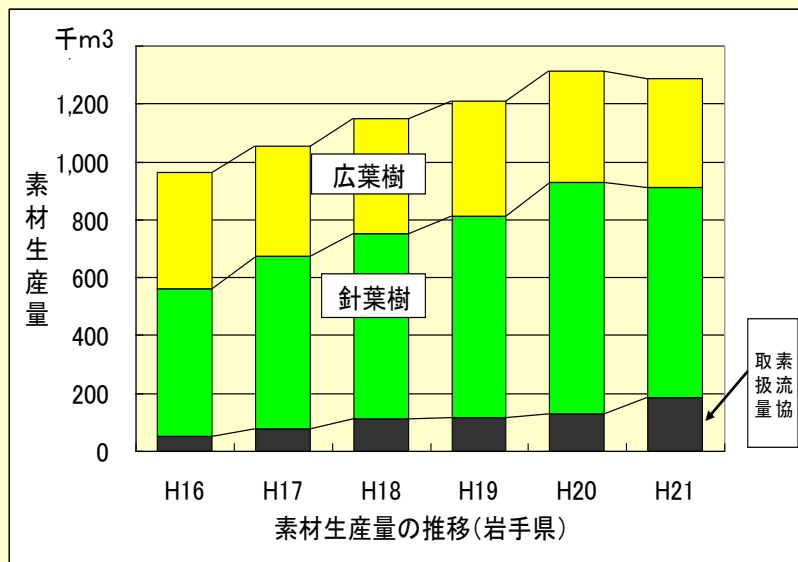
ノースジャパン素材流通協同組合
経営企画部長 外館聖八朗

1. 素材取扱実績と組合員数の推移



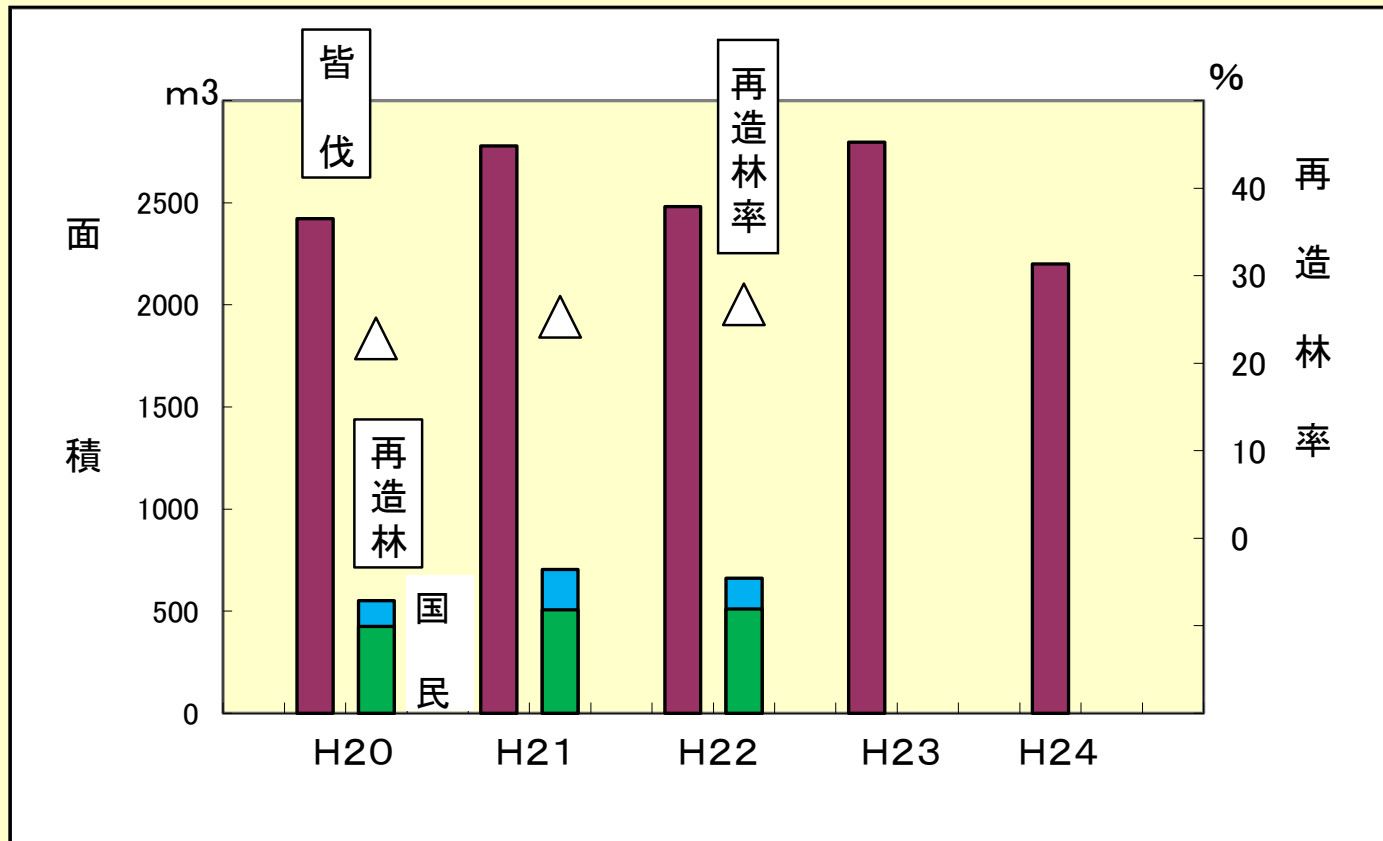
2. 素材生産に伴う伐採面積と再造林率

岩手県での針葉樹林の皆伐面積 (H20、21年度、民+国有林)
年間約2,700~2,800ha



岩手県での再造林率 25% 前後 (H20~22年度)
 (推定値)

↓
 伐採跡地の4分の3は 天然性広葉樹林化



3. フォレスト再生モデル実証事業（低コスト再造林）への取組

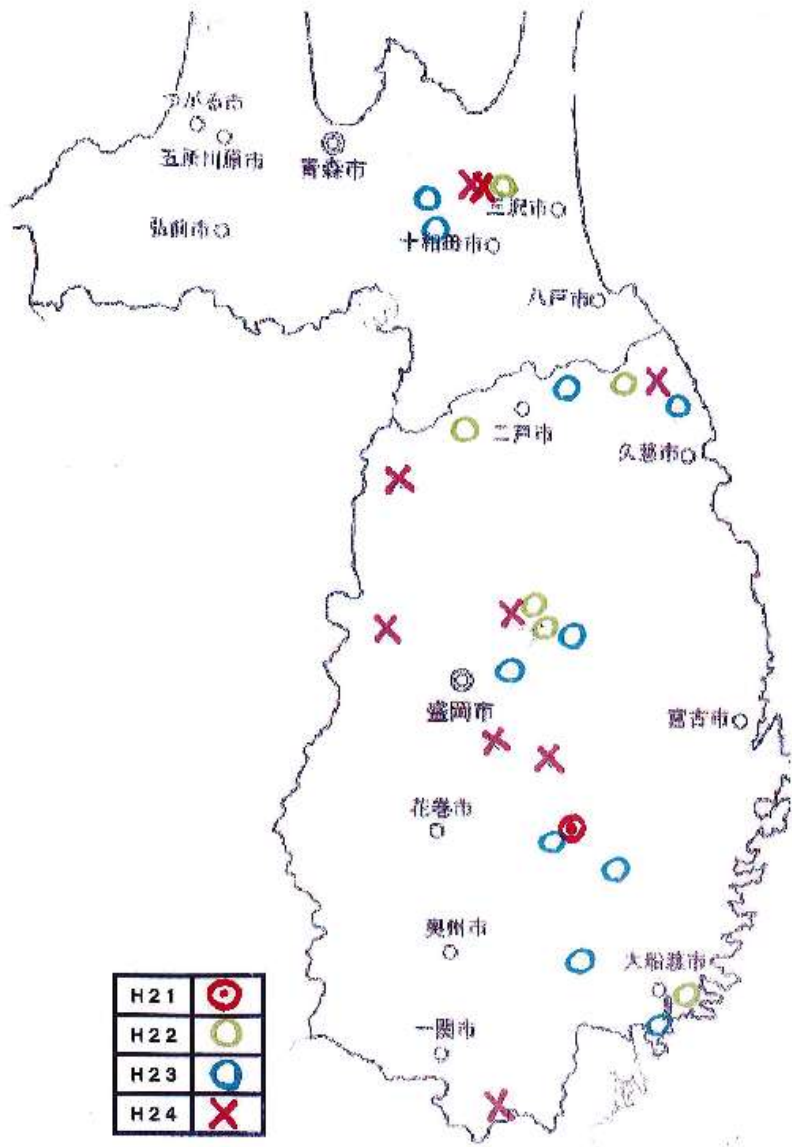
【 低コストの手法 】



年 度	実施方針	協 力 要 請 事 項	実 証 箇 所 数
H21	低コスト再造林の可能性検討	①重機使用による地拵 ②低密度植栽 （カラ 1,500本/ha） ③大苗植栽 （下刈期間短縮）	1
H22	低コスト再造林の実証	①重機使用による地拵 ②低密度植栽 （スギ 2,200本/ha目標） （カラ 1,980本/ha目標）	6
H23		①重機使用による地拵 ②低密度植栽 （スギ 2,000本/ha以下） （カラ 1,500本/ha以下） ③可能ならコンテナ苗を植栽	10
H24		①重機使用による地拵 ②低密度植栽 （スギ 2,000本/ha以下） （カラ 1,500本/ha以下） ③コンテナ苗を植栽	9
計			26

協力実施組合員と植栽苗

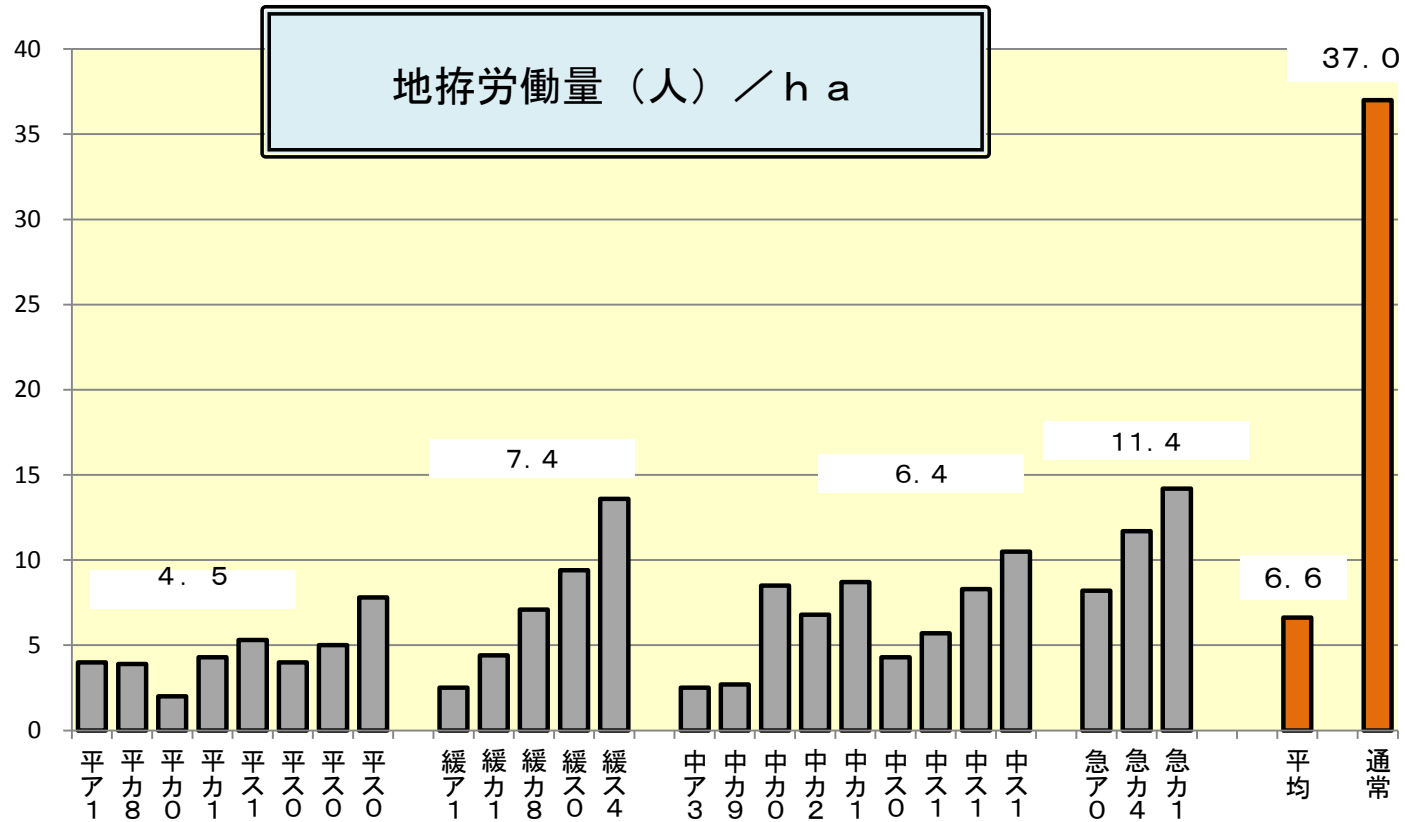
NO	協力実施組合員	協力実施年度と植栽苗			
		H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
1	横澤林業（株）		カラ (2ヵ所)	カラ	カラ スギ
2	（株）浅倉農林			カラ	
3	（有）丸大県北農林		カラ	カラ	カラ
4	（株）イワリン	カラ		カラ	カラ
5	遠野林業		スギ	スギ スギ	
6	仲山林業			カラ	
7	（株）二戸林業		カラ		
8	（株）小野寺林業				カラ
9	東磐井森組			カラ カラ	
10	（有）泉山林業				カラ
11	柳本一男				カラ
12	袖林義雄				カラ
13	小野寺隆治			スギ	
14	上北森林組合		スギ	カラ・スギ スギ	スギ (2ヵ所)
15	（株）漆坂林業			スギ	
16	（株）吉本 岩泉事業所		(カラ)		
	協力実施組合員数	1	6	10	9
植栽は実施年度の翌年春～秋		コンテナ苗植栽		一部	全部



実証地位置図

4. 取組結果（地拵作業）

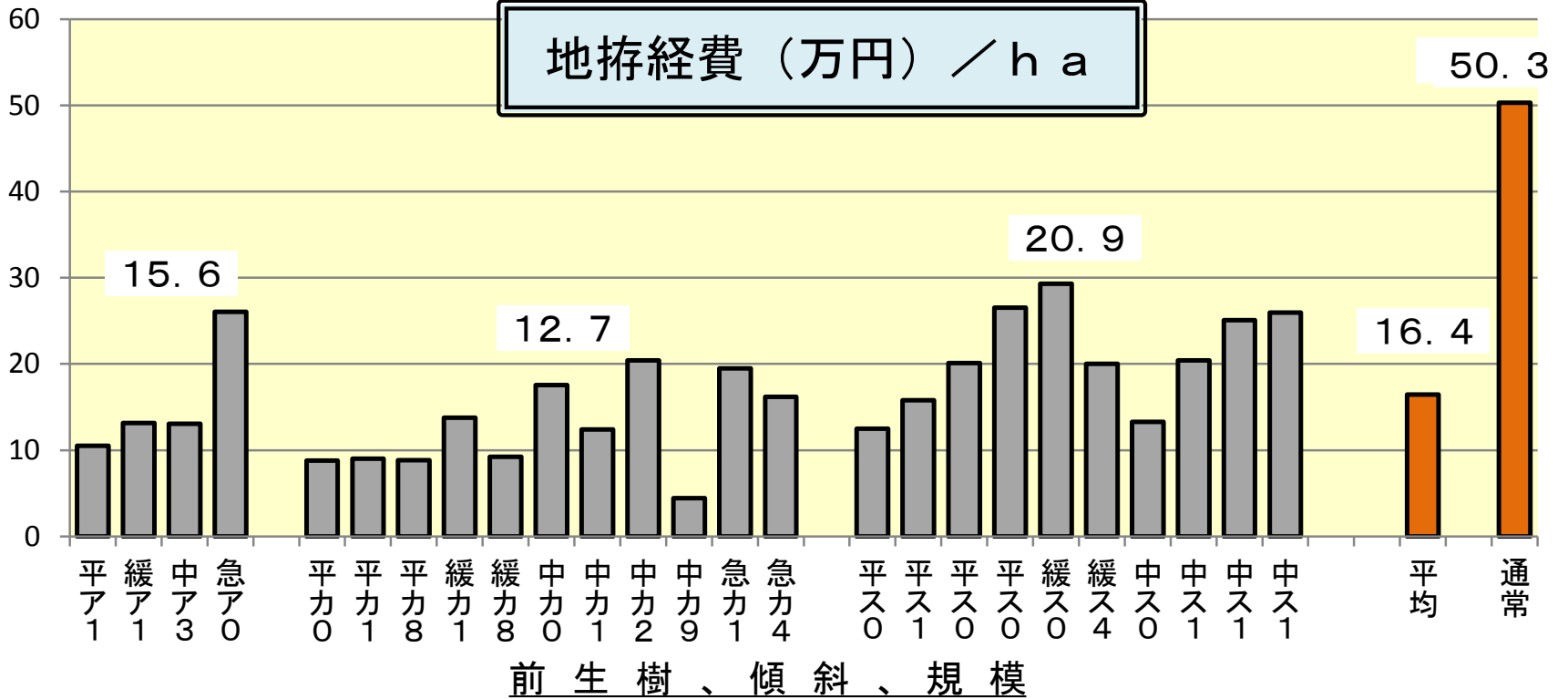
傾斜 (度)	平 0~5	緩 6~10	中 11~20	急 21以上
前生樹 (伐採樹種)	ア アカマツ	カ カラマツ	ス スギ	
規模 (作業面積ha)	0 0.0~9.9	1 1.0~1.9	2 2.0~2.9	3 3.0~3.9



傾斜、前生樹、規模別

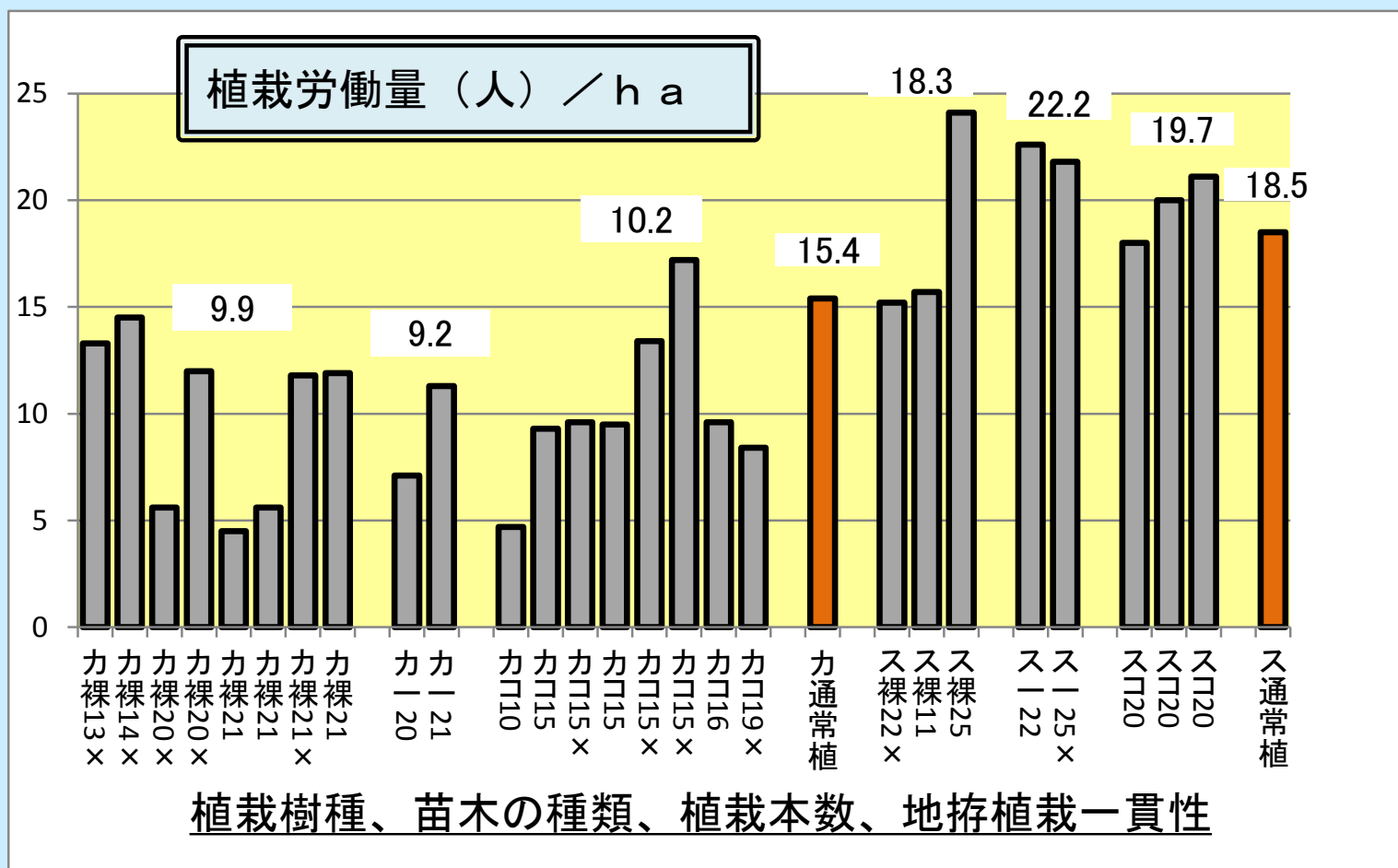
取組結果（地拵作業）

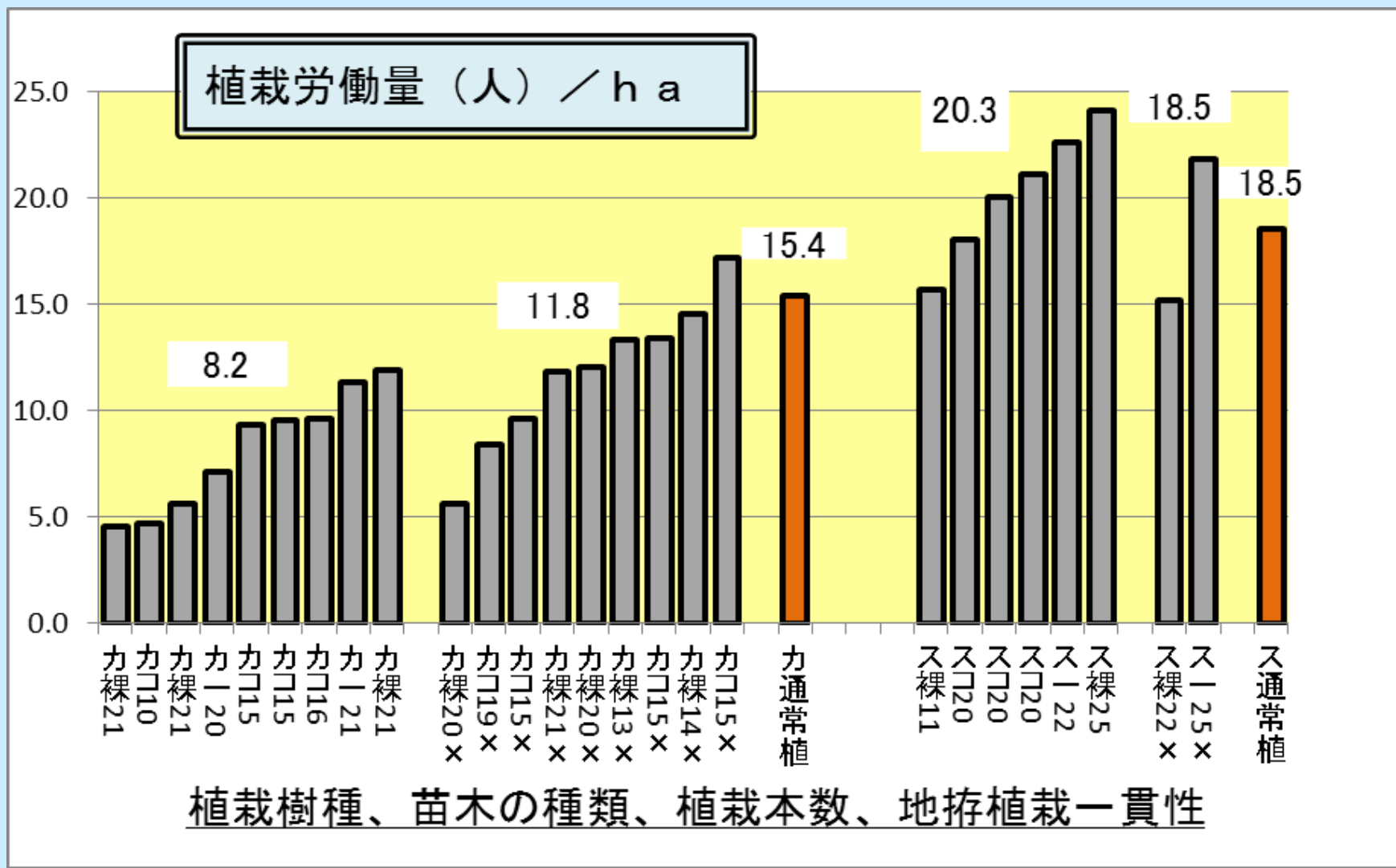
地拵経費（万円）／h a



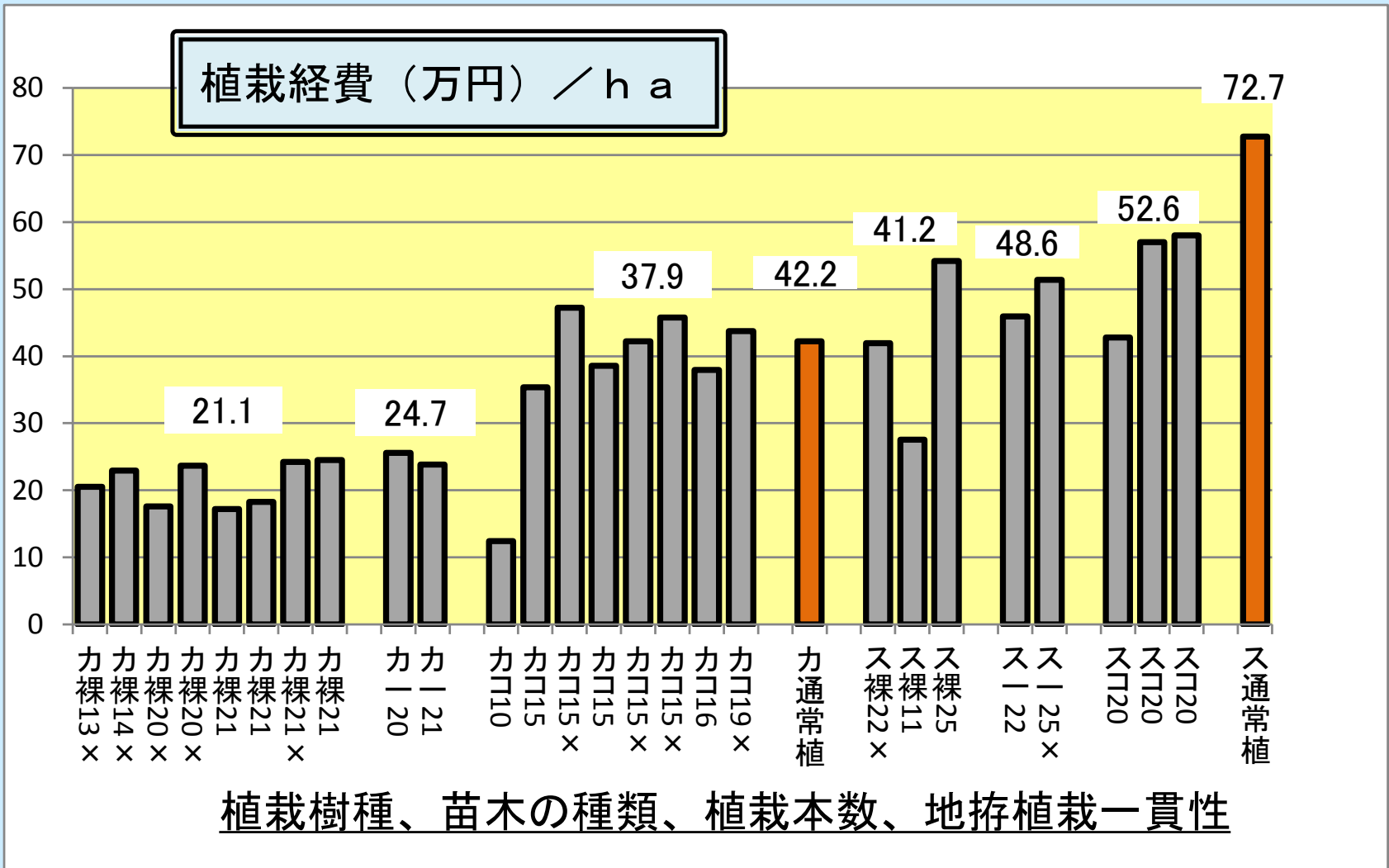
取組結果（植栽作業）

植栽樹種	カ	ス	
	カラムツ	スギ	
苗木の種類	裸	コ	—
	全て一般苗	全てコンテナ苗	一般苗を主とし、一部コンテナ苗
植栽本数	表示数値×100本/ha		
地拵植栽一貫性	地拵と植栽を異なる事業者が実施したとき、「×」を表示		

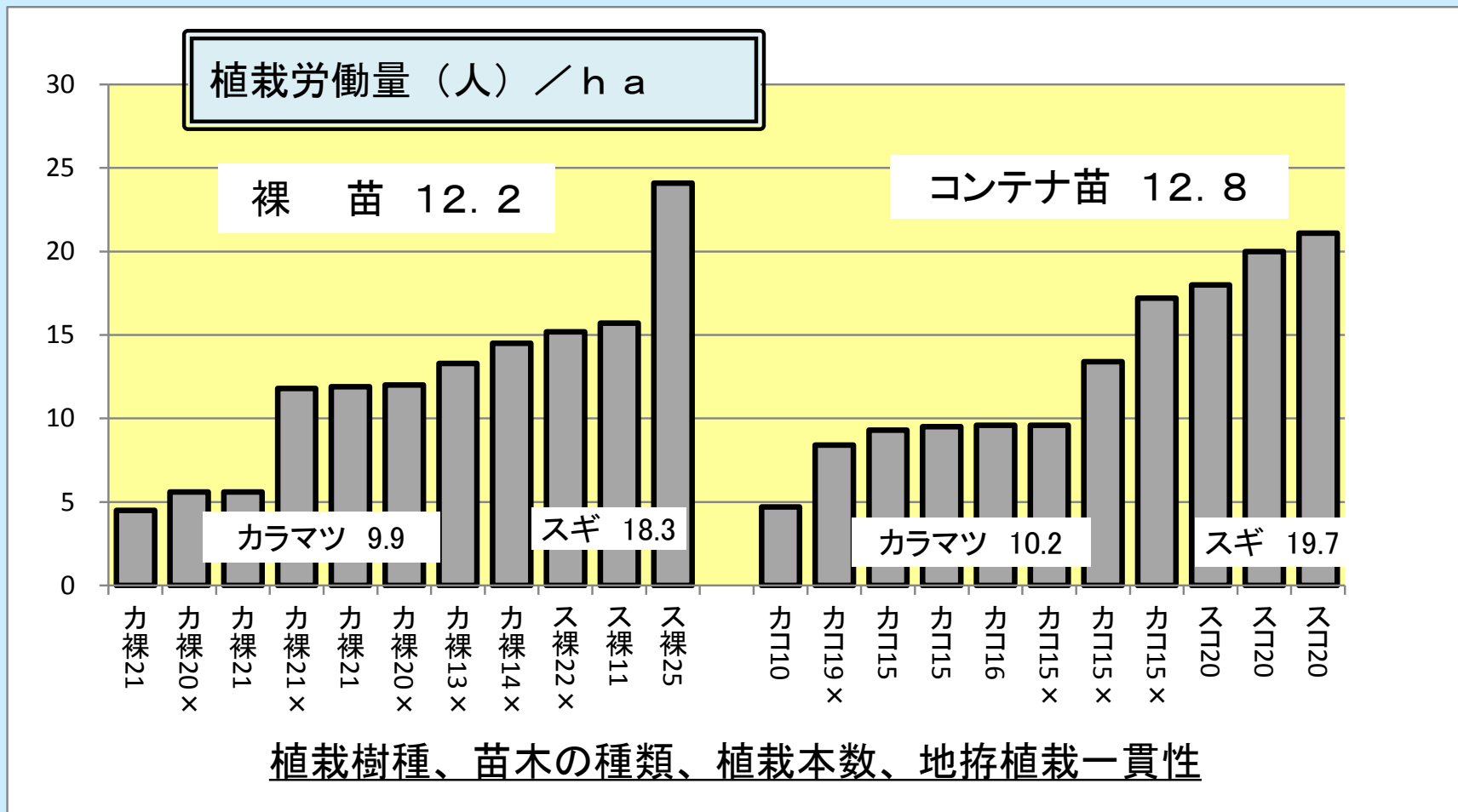




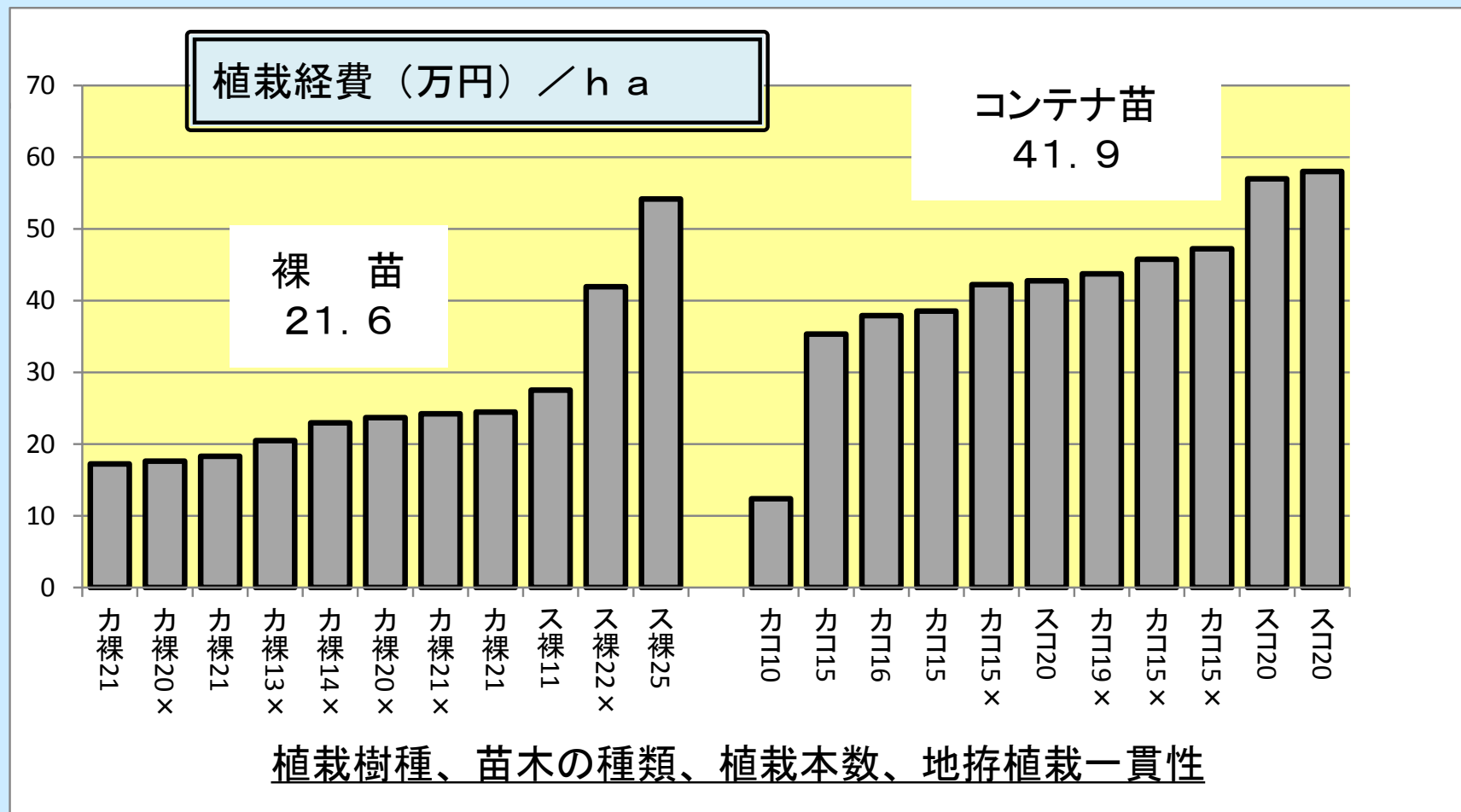
取組結果（植栽作業）



取組結果（植栽作業）

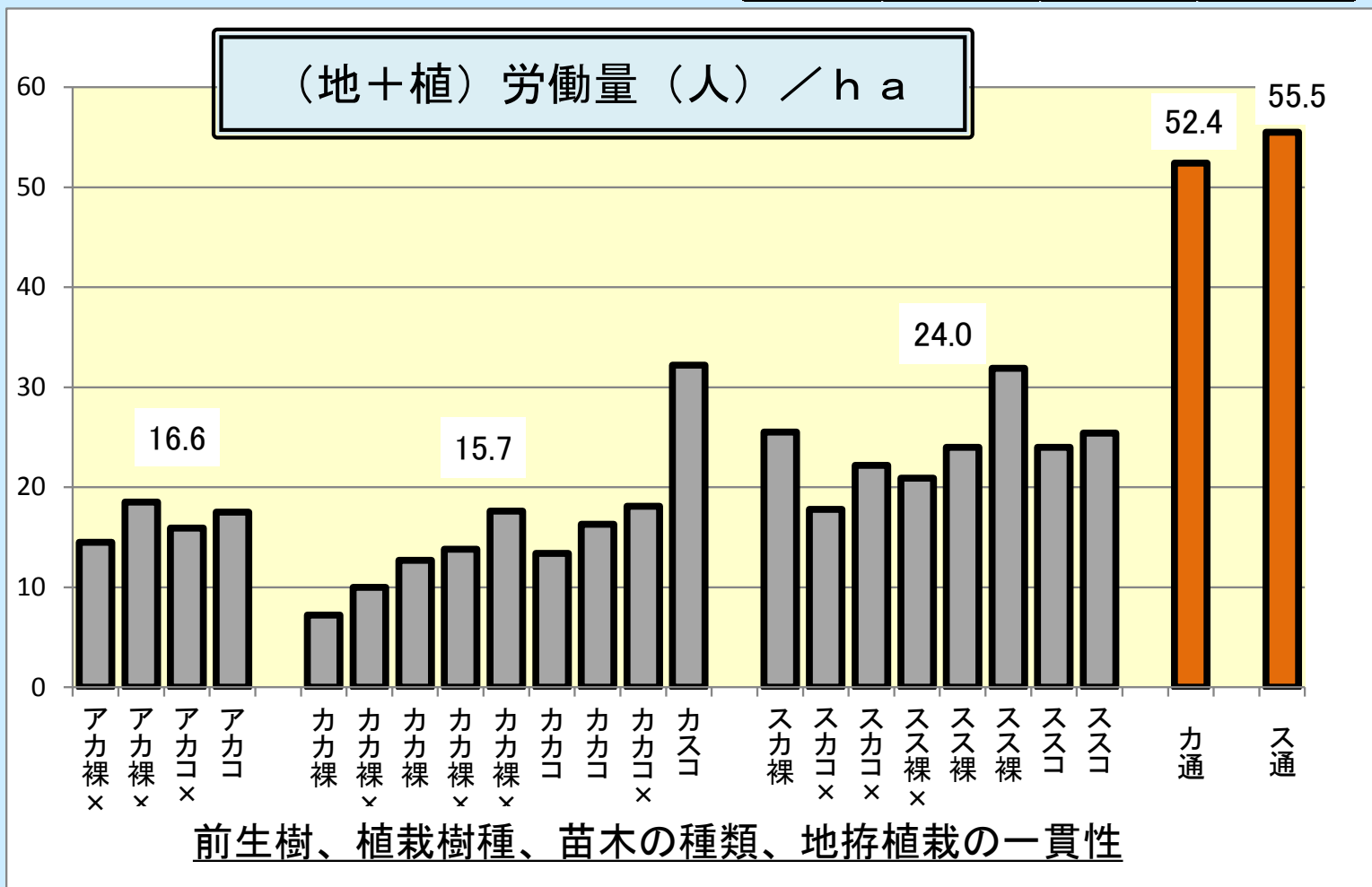


取組結果（植栽作業）

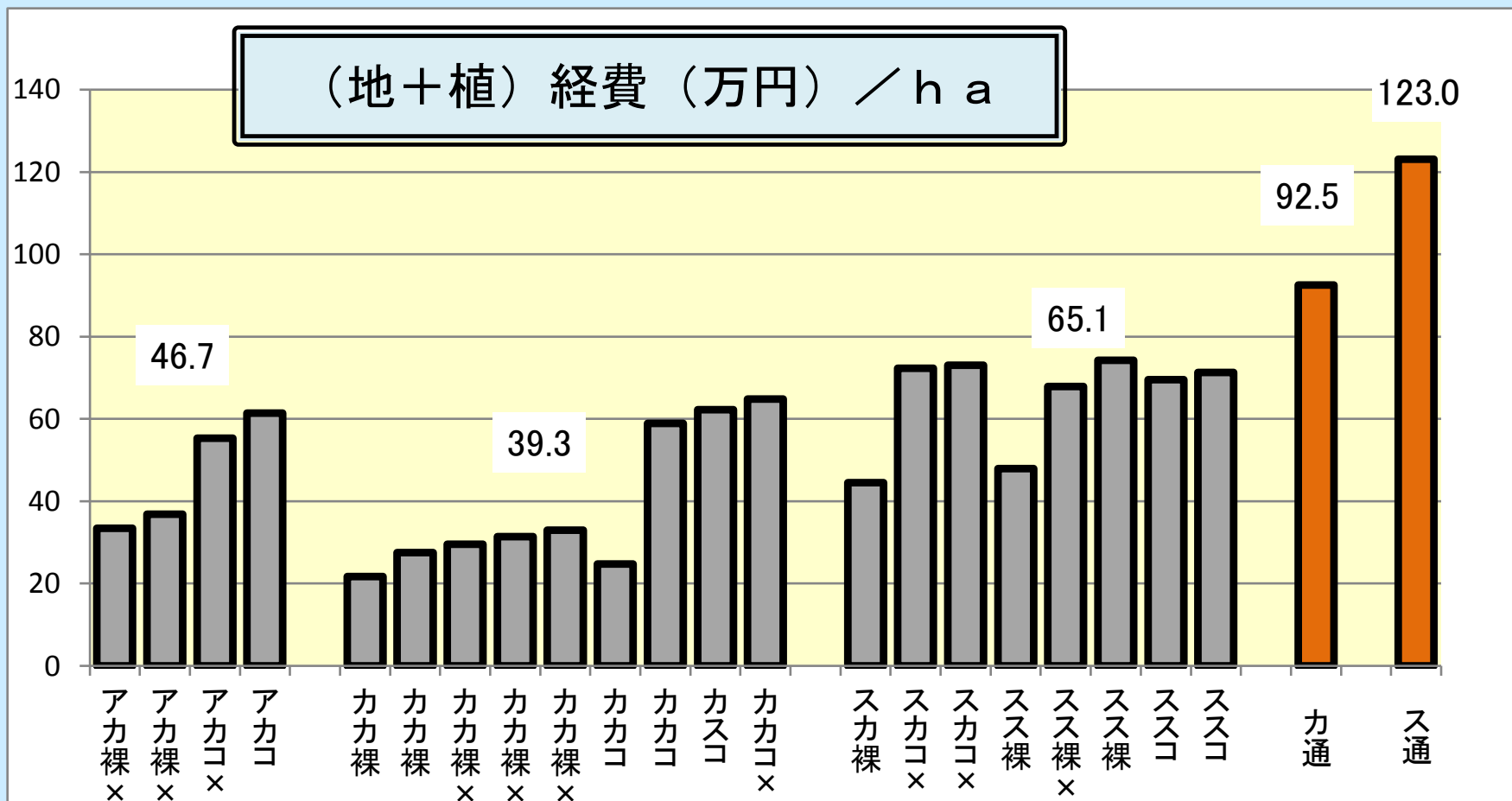


取組結果（地拵＋植栽）

前生樹 （伐採樹種）	ア	カ	ス
	アカマツ	カラムツ	スギ
植栽樹種	カ	ス	
	カラムツ	スギ	
苗木の種類	裸	コ	
	全て一般苗	全てコンテナ苗	
植栽本数	表示数値×100本/ha		
地拵植栽 一貫性	地拵と植栽を異なる事業者が実施したとき、 「×」を表示		



取組結果（地拵＋植栽）



前生樹、植栽樹種、苗木の種類、地拵植栽の一貫性

5. コンテナ苗植栽の得失

利 点

(1) 植栽時期が広範囲

コンテナ苗の植栽時期

	5月	6月	7月	9月	11月		計
	上	下	上	下	中	下	
スギ	2	1					3
カラマツ		1	2	3	1	1	8

(2) 植栽作業の容易性と活着の確実性

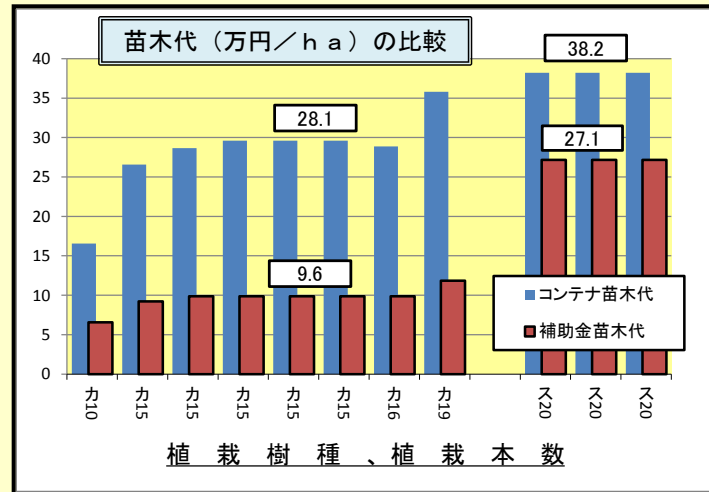


(3) 雑な地拵地でも植栽可能



欠 点

(4) 高い苗木代



(5) 植付用道具の未整備、改良

・植付器具

・林内での運搬用具



6. 低コスト再造林の課題と方向性

(1) 作業の一貫実施(連携の強化)

(2) 下刈作業まで含めた低コスト化

(3) 低コスト作業の受入れ醸成

- 森林成立の実証呈示
- 森林所有者、林業作業者の理解

(4) 再造林実施地の土地(地形)区分

- ・天然更新の推進

(5) 補助事業でのコンテナ苗単価の設定

お願い

試験実証地の提供

- ・急斜地での低コスト再造林
- ・下刈軽減のための除草剤施用